

会員数	40,663	(前月比) +	68
郵送	8,844	(前月比) -	92
手配り	29,200	(前月比) -	3
協同基金到達額	2,499,349,000円(3/31現在) [前月比 3,390減]		
協同基金出資者数	21,935名(3/31現在)		
いのちを守る助け合い募金額	22,833円(3/1~31)		



発行
健康友の会 みみはら
民医連 本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860 [1部30円]

写真で振り返る2022年度

昨年第35回総代会で、「つながり活かした、担い手づくり、仲間ふやしを！」を確認しました。2023年度の方針は2面に掲載しています。

友の会結成40周年(2025年3月)までに 10万人の組織実現に向けて、 つながりを活かした「担い手づくり」「仲間ふやし」

友の会の輪を広げるとりくみ



大浜支部総会

- ・仲間ふやし 925人
- ・担い手 1000人
- ・お元気でしか訪問
- ・協同基金
- ・いつでも元気の普及



訪問行動 (ふくいずみ)

地域まるごと健康づくり



ウォーキング (泉ヶ丘西)



高石健康体操

- ・健康診断 健診受診促進
- ・大腸がんキャンペーン
- ・保健学校「フレイル予防」
- ・「健康づくりチャレンジ」
- ・「ウォーキングチャレンジ」
- ・出前健康講座

社保・平和・まちづくり



平和行進泉北綱の目



知事選推薦決議 (湊西支部)

- ・核兵器廃絶の取り組み
- ・平和行進
- ・カジノ反対
- ・住民投票の取り組み
- ・お出かけ応援制度改悪反対

ブロック・支部・班づくり



南区ブロック「新春文化のつどい」



スマホ班会 (八田宮園)

ふれあい支えあいのまちづくり



メリアキッズクラブ (北区)



夏休み子ども塾 (鳳)

- ・ワンコイン助っ人隊
- ・お出かけ助っ人隊 (有償送迎事業)
- ・無料低額診療
- ・フードバンク
- ・子ども食堂
- ・子ども塾

第36回総代会のご案内

2023年度の健康友の会みみはら総代会を以下の日程にておこないます。

日程：5月27日(土) 13時30分～16時

場所：みみはらホール

参加対象：各支部からの代議員 (26支部)

内容：2022年度到達の確認
2023年度方針の確認
役員選出

※支部では、総代会までに支部総会及び議案書確認をおこなってください。

聴診器

日本の酪農家が危機に瀕している。牛乳などの原料乳が余り、廃棄処分される事態となっており、3月1日から国は生乳の生産抑制のため、乳牛を殺処分すれば1頭あたり15万円助成金を出し4万頭を殺処分目標とすること。2014年政府は国内のバター不足解消のため、生乳生産をふやすよう誘導、機械や設備を購入させ、多額の借金を負った農家もいる。その後のコロナ禍での牛乳消費落ち込みやウクライナ戦争による飼料高騰のため、今98%の酪農家が赤字に陥っており自殺者も出ている。この状況でも国は買い上げなど支援策はなしで、乳牛を処分しろという▼アメリカではコロナ禍で苦しむ農家に3・3兆円の直接給付を行い、3千3百億円で食料買い上げ困難者に配布している。アメリカ、カナダ、EUでは平時から設定した最低限の価格で政府が穀物や乳製品を買い上げ、国内外への援助に回す仕組みを持っている▼日本の食料自給率は30%というが、肥料や飼料はほぼ輸入なので実質自給率は10%程度と推定され、世界最低水準の国である。多額の防衛費投入の前に生きるための食料自給を強化するのが国防だろう。東京大学鈴木宣宏先生の渾身の発信を是非目にしてください。(緒方浩美)